

## Nagoya Medical Journal (名古屋市立大学医学会関連) 投稿規定

- (1) 著者は本会会員に限る。
  - (2) 本会に関連した投稿はつぎのものとする。
    - a) 総説
    - b) 原著, 臨床報告(他誌に掲載しないものに限る)
    - c) 本会記事, 演題抄録(一般演題は400字以内)
    - d) その他
  - (3) 原稿については下記事項に注意すること。
    - a) 表題, 著者名, 著者の所属には英文訳を添える。
    - b) 総説, 原著, 臨床報告には250字以内の英文要約を添付する。
    - c) 横書き, 常用漢字, ひらがな, 新かなづかいを用い, 口語体とする。代名詞, 接続詞, 助動詞, 副詞は例外を除きかな書きにする。

[例]あるいは, おける, および, ごとく, さらに, しかし, すなわち, それぞれ, なお, ならびに, ほほ, または

詳細は「国語表記の基準」に従う。
    - d) 「外国の人名, 地名および物件名」などは原則として原字を用い, 大文字と小文字の区別を明確にする。慣用された日本語訳名のある場合は外国綴りにしない。
    - e) 図表の原稿は通常1/2～1/3に縮小されるので, 刷りあがり図表の2～3倍大に黒インキで書き, 記入文字は原則として活字体を用い, 縮尺率を考慮して相当する大きさに墨入れする。用紙は白紙または青色方眼紙(緑・黄・茶は不可)を用い, 図表の大体の挿入位置を本文中に朱記する。
    - f) 文献
      - ①雑誌の引用:

著者名, 論文題名, 雑誌名, 巻数(ゴシック: 数字の下に波線を引く), 始めの頁-終りの頁, 年号(西暦)の順に記載する。
- 注: (1) 著者が3名以下の場合には名前をすべて記載する。4名以上の場合には始めの3名までは必ず記載し, 4番目以降は和文文献では他, 外国文献では et al. とする。
- (2) 雑誌号数は原則として書かない。ただし, 号によって頁数が変わる雑誌に限り巻数のあとに号数を括弧して入れる。
- (3) 日本語雑誌では雑誌の略称は使用しない。外国語雑誌では「Index Medicus」にならう。
- [例] 雑誌
- 1) 川島正夫, 加藤 弘, 中村谷成他: 胃粘膜関門に関する研究. 名古屋市立大学医学会雑誌, 22: 91-100, 1971.
  - 2) Wallace RA, Kurtz A, Niemann C, et al: New concepts of the gastric mucosal barrier. J. Am. Chem. Soc., 77: 3365-3368, 1955.
- ②書籍の引用:  
執筆者, 表題, 書名(編集者名), 発行所, 巻数, 引用場所の始めの頁-終りの頁, 年号(西暦)の順に記載する。単独執筆の場合は著者名, 書名, 発行所, 引用場所の始めの頁-終りの頁, 年号の順とする。
- [例] 書籍  
(分担執筆の場合)
- 1) 古賀正三: カタラーゼの精製法. 酵素研究法(赤堀四郎編), 朝倉書店, 3巻, 264-293頁, 1957.
  - 2) Lindgren FT and Nichols AV: Analysis of  $\gamma$ -globulin. "The Plasma Proteins" (ed. Putnam FW), Academic Press, vol.2, pp.1-22, 1960. (始めの3名までの著者名は必ず記載し, 4番目以降は和文文献では他, 外国文献では et al. とする。)  
(単独執筆の場合)
  - 3) 中村三郎: 薬理学, 丸善, 203-215頁, 1966.
- (4) 原稿の採否, 体裁などは編集幹事に一任して下さい。
- (付) 本誌への投稿は従来通りの原稿によるほかフロッピーでの入稿もできます。(次頁参照)

## フロッピーおよび CD 入稿について

名古屋市立大学医学会雑誌のフロッピーおよび CD 入稿については、以下の注意を参照して下さい。

### フロッピー入稿の一般の注意点

1. 入稿されるフロッピーは必要なものだけコピーして一枚のフロッピーにまとめ、ファイル名を書き出して下さい。
2. 入稿に使用された機種、ソフトなどをできるだけ詳しくお知らせ下さい。使用ソフトはなるべく MS Word または一太郎で作成して下さい。
3. フロッピーだけでなく、必ず紙に印字（プリントアウト）したものを同時に添付して下さい。
4. 入力には細心の注意が必要です。ワープロでは区別がつかなくても、電算写植機ではその差がめだつ文字、記号があります。

- 4A - - - を適切に使い分けて下さい。
- 4B 、 。ではなく、。を使用して下さい。
- 4C 数字は半角にして下さい。
- 4D X と x, l と I と 1, - とーはタイプライタと違い区別して使用して下さい。

外字は自家作成のものはもちろん、機種特有なものも変換できませんので、プリントアウトしたものに赤で印を付けて下さい。

欧文は、すべて半角を使用して下さい。

5. テキストコンバートできるのは文字だけです。文字飾りや文書整形などの制御記号は全部はずして下さい。

(注：文字飾りや文書整形の箇所はプリントアウトしたものに赤で印を付けて下さい。)

6. 字下げ、インデントはおこなわないで下さい。
7. 改行マークは必要なところに必ず入れて下さい。

## 記 入 例

論文題名		著者名	
胸腺摘出、胸腺移植の発癌および腫瘍転移に及ぼす影響についての実験的研究		○ ○ ○ ○	
	ファイル名	使用ソフト	備考
本文	kyousen.JAW	一太郎 Ver.5	テキスト変換済み (必ずチェックする)
図表説明	zuhyou.DAT	マックライト II	テキスト変換済み (必ずチェックする)

MS-DOS 以外の OS や専門ワープロをお使いの場合は欄外に詳しく記入して下さい。

## 名古屋市立大学医学会雑誌原稿に関する注意点

1. 図版はそのまま、写真製版して掲載します。できるだけ、綺麗な原図をご用意下さい。また、雑誌の版面内に、うまくおさまるように考慮して下さい。表は編集して掲載します。
2. 本文（文献含む）、図表のタイトルはファイルを分割して下さい。
3. 提出フロッピーは、できるだけ MS-DOS フォーマットに統一して下さい。  
3.5, 5 インチの別はといません。

### A. MS-DOS マシンの場合

保存形式はテキスト形式でお願いします。一太郎の Ver.1 ~ Ver.3 は通常の保存形式がそのままテキスト形式になっています。  
Ver.4, Ver.5 では保存時にテキスト形式保存を選択します。他のソフト（松、クイーンなど）でもテキスト保存は選択できます。

### B. Macintosh の場合

DOS 変換は必要ありません。Macintosh フォーマットフロッピーそのままでも結構です。ただし、必ずテキストに変換しておいて下さい。（使用可能なソフト：Word）

## CD 入稿の注意点

通常の OS 9, および Windows XP での CD 作成をお願いします。当方で使用のコンピューターは Windows 98, 2000, ME, XP, Mac OS 7.6.1 ~ 9.2 ですので、これにより読み出せる CD-R をお送りください。